

日本多胎支援協会とは

設立と趣旨

平成22年（2010年）2月22日に設立

ふたご・みつご等の多胎児の妊娠・出産は、単胎児と比べてさまざまな医療的な配慮が必要であり、またそれに続く育児においても同じ年齢の複数児を同時に育てるという困難さがあります。必要なケアやサポートが届かない多胎家庭が深刻な育児困難や虐待等の事態に陥るケースは珍しいことではありません。

私たち「一般社団法人日本多胎支援協会」（JAMBA: Japan Multiple Births Association）はこうした多胎の妊娠・出産・育児をとりまく状況を改善し、日本中どこでも、ふたご・みつごを安心して産み育てることができる社会を目指し、平成22年2月22日（2が5つ連なる日＝ツインズデー）に全国各地の当事者・専門職・研究者が理事となって発足しました。

活動実績（2019年6月現在）

福祉医療機構（WAM）助成、こども未来財団助成、キリン福祉財団助成や自団体事業によって、以下のような活動を展開しています。

地域多胎ネットの構築のサポート

地域の多胎支援ネットワークを広げるお手伝いをしています

- いしかわ多胎ネット
- ひょうご多胎ネット
- 多摩多胎ネット
- ぎふ多胎ネット
- おおさか多胎ネット
- あきた多胎ネット
- しずおか多胎ネット
- みやぎ多胎ネット
- さが多胎ネット
- かごしま多胎ネット

全国フォーラムの開催

1年に1度、それぞれの地域の特性を生かした「全国フォーラム」を開催しています。過去10年間の開催地は以下です。

東京都品川区、東京都港区、神戸市、金沢市、北九州市、さいたま市、鹿児島市、浜松市、旭川市、佐賀市

各地での講座や研修会の開催

- 妊娠期からの多胎ファミリー教室&運営講座 20カ所以上
- 子育て支援者研修「多胎家庭を地域でサポート！」20カ所以上
- 専門職研修会 **NEW!**

調査研究

厚生労働省平成29年度子ども・子育て支援推進調査研究「多胎育児家庭の虐待リスクと家庭訪問型支援の効果等に関する調査研究」

活動にご賛同・ご協力ください！

本会は皆様のご理解とご協力のもとで運営されています。
多くの皆様の支援をお願いします。
ご寄付もお待ちしております。

正会員

議決権があり実際の運営にかかわることができる個人
年会費 10,000円

賛助会員

議決権はもたないが、目的に賛同し
活動を支援する個人や団体

- a 多胎家庭会員 3,000円
- b 一般会員 5,000円
- c 団体会員 10,000円



振込先

1. ゆうちょ銀行（郵便局）からのご送金の場合

【記号番号】 00140-9-512476
※ゆうちょダイレクト送金では「00140-512476」
【口座名称】 シャ）ニホンタタイシエンキョウウカイ

2. 上記以外からのお振込の場合

ゆうちょ銀行 店名〇一九 店番019
【種 目】 当座預金
【口座番号】 0512476
【口座名称】 一般社団法人日本多胎支援協会

一般社団法人日本多胎支援協会 連絡先

〒651-2242
兵庫県神戸市西区井吹台東町 3-2-8-202
TEL&FAX 078-992-0870
<http://jamba.or.jp>
Email:jamba@jamba.or.jp



一般社団法人 **日本多胎支援協会**
Japan Multiple Births Association



日本中どこでも、
ふたご・みつごを
安心して産み育てることが
できる社会のために



JAMBA

私たちは、日本中どこでも、ふたご・みつごを安心して産み育てることができる社会を目指しています

ふたご・みつごの育児は特有の大変さがあり、親だけ、家族だけの孤立した育児にならないよう、社会の支援や配慮が必要です。私たち JAMBA は、さまざまな立場（多胎の当事者や家族、医療専門職・行政担当者・福祉関係者など）をつなぎ、多胎家庭への支援を広げたいと願っています。ホームページも併せてご覧ください。また事務局にもお気軽にご連絡ください。

支援を一緒に考えたい

多胎サークルの設立・運営

多胎サークルのご相談を受けています。HP のフォームからもご相談いただけます。

- 「多胎育児サークルをつくってみたい」
- 「運営の相談をしてみたい」
- 「多胎サークルで講座を開催してみたい」

地域多胎ネットワークの構築

さまざまな機関と連携する地域の多胎育児支援ネットワークの構築についてご相談のっています。

子育て支援拠点、家庭や病院への訪問について

拠点や訪問での支援について事例をご紹介します。

正確な情報を届けたい

講演会等の開催

全国フォーラムや多胎児・多胎家庭・多胎育児に関する地域での講演会や勉強会を開催しています。

ホームページでの情報提供

多胎に関するデータ、多胎サークル、役立つ書籍や冊子等を紹介しています。

冊子の提供や販売



「ふたごポケットブック」シリーズ等、当事者に具体的な育児のノウハウを伝えるための小冊子や、支援のガイドラインがあります。

多胎の理解を広げたい

Twin's week やツインズデーの啓発

多胎児の人権を大切に、多胎を楽しむことで、HAPPY に！

国際多胎組織協議会 (ICOMB) への参加

世界の多胎情報を収集し、発信します。

学会での発表



日本双生児研究学会、日本公衆衛生学会、日本小児保健学会等において、多胎に関する研究発表をしています。

多胎の妊娠・出産・育児を応援する支援者のための研修・講座

医療専門職向け研修会 (修了証あり)

多胎妊娠時や出産・産後時のより適切な指導やケアは、不安になりがちなママに大きな安心を与えます。医療専門職だからこそできる情報提供と支援について、先進事例などを交えて学びます。

対象 保健師・助産師・看護師

ピアサポーター養成研修 (修了証あり)

多胎育児の経験を活かして、同じような悩みを持つ多胎家庭を支えるには、ルールやコツがあります。そうした力をつけて地域の多胎家庭を支えられるサポーターとしての学びを深めます。

対象 多胎サークル・多胎当事者の集まりなど

行政・子育て支援 団体向け講座

子育て支援は、多胎家庭にとって大切なよりどころです。地域で多胎家庭を支えるために、どのような寄り添いが求められているのでしょうか。具体的なワークを交えて学びます。

対象 行政・民間の子育て支援団体

子育て支援者向け講座

地域にはさまざまな社会資源と連携して多胎家庭支援を推進する人が必要です。多胎家庭が求めている支援と先進的な支援例について学びます。

対象 子育て支援者・主任児童委員・多胎サークルリーダー・多胎支援に関心のある人

妊娠期からの多胎 ファミリー教室運営講座

多胎妊娠・出産・育児は、単胎と異なることが多く、家族の理解が必要です。多胎妊婦とその家族に必要な情報を提供する「妊娠期からの多胎ファミリー教室」を開催するために必要な要素について学びます。

対象 医療専門職・行政職・子育て支援者・多胎サークルスタッフ

多胎児を産み育てる 当事者のための研修・講座

妊娠期からの 多胎ファミリー教室

多胎の妊娠・出産・育児のイメージを妊娠期に持つておくことは、その後の育児困難感を軽減できます。専門職の講義「多胎の妊娠・出産の実際と注意点」と地域の多胎育児経験を持つ家族との交流会で不安感を軽減する教室です。

対象 多胎妊婦とその家族